



## きょうりゅう 恐竜 はいつごろいなくなったの

いま まんねんまえ  
今から6500万年前

きょうりゅう は、今からおよそ2億2000万年前ごろ現れて、それから1億4000万年間もの長い間、さまざまな種類のものが現れ、数も増えて広がりました。今いるワニの祖先や、鳥の祖先も、この恐竜の仲間から現れました。

今まで、こんなに長い間、恐竜 というような一つの仲間が、さかえた例は、ほかにありません。恐竜 が、このころの地球の気候や環境にあわせて、うまく体のしくみを変えていったからでしょう。しかし、今から7500万年前ごろがいちばんさかんだ時期で、7400万年前ごろから、どんどん数が減りはじめていたことがわかっています。そして、6500万年前、恐竜の仲間は、全部死んでいなくなりました。

きょうりゅう ぜつ  
恐竜の絶滅のなぞは、まだとけていない

なぜ、全部ほろびたのかというわけは、はっきりわかっていません。このころ、巨大いんせきが地球にしょうとつしたとか、火山の大噴火があったためという説があります。大爆発や大噴火で、地球全体をちりやほこりが包み、太陽の光がとどかず、気温が急激に下がり、植物はかれ、恐竜たちは、寒さと、食べ物不足で死んだというわけです。伝染病で死んだという学者もいます。どちらにしても、6500万年前より後からは、恐竜の化石がまったく出てこなくなったので、恐竜はいなくなってしまうといえます。

1年間を8ミリメートルとすると、6500万年前は、どのくらいの長さになるでしょうか。1000年が8メートルになり、6500万年は東京～大阪までのきよりぐらいになります。どのくらい大昔のことになるか、想像できましたか。(監修・今泉 忠明)

